

4/24(土) まいど! 倫理号です 全二=思つては人へ伝へられない
覚悟を決め言葉=好... 言葉は生きてくる。決まり!

喜七運心 亦鳥

2021. 4. 24~4. 30

今週の

倫理

4月のテーマ | 言葉は生きている

1226号

物事を成就させる秘訣は、目的と目標を明確に掲げ、その達成に向かう努力を惜しまず、出来るまで一貫して継続することです。

そして、その原動力となるのは「信念」に他なりません。「必ずやる」という信念が努力のもとであり、「きつとできる」という自信は、継続の原動力となります。

では、どうしたら、確固たる信念を築くことができるのでしょうか。

『万人幸福の菜』第十五条、信成万事には、信念を固める三つのあり方について、以下のよう記しています。

決心というものは、今までなかった事を、こころと信念を定めることである。「ちかい」(誓)というものは、人と人が、又人が人以外のものと結びあつて、信念をかためることをいう。「祈り」は、神にすがつて信念を確立するのであり、大宇宙の大信念と一致しようとするのである。

注目したいのは、傍線で示した部分です。決心は信念を「定め」、誓いは信念を「固め」、祈りは信念を「確立する」と、それぞれに異なった表現が用いられています。

一言で、信念を固めるといつても、自分の心の内で定める「決心」と、周囲に対して目標を披瀝する「誓い」と、大いなる力にすがる「祈り」という、三つの側面があります。目標に向かつての信念を確立するためには、前述の三方向からの実践が肝要です。

Yさんは、結婚を前提にお付き合いをしている女性がいました。ところが、ある日、相手の家庭内の事情により、別れを告げられ、



心を決めて 言葉にする

破談となつてしまつたのです。

希望を失い、悲嘆に暮れていると、先輩からは「いつまでも下を向いていたのでは、前には進めない。新たな縁を求めた方がいいよ」と励まされました。

併せて、「なぜこうなつたと嘆くことよりも、いま自分がどうしたいかが大切だよ」と左記の三つの実践を提示されました。

① 理想の結婚相手を明確にする

② それを声に出して日々斉唱する

③ 仏壇や神棚、もしくは墓前で祈る

それからというもの、Yさんは、この先、どのような出会いと結婚が人生を豊かにするのかを考え、自分の目標を定めました。さらに、それを毎日、仏壇の前で斉唱し、折をみでは、墓参に出かけました。

すると、それまで、落ち込んで過去を振り返ることしかできていなかったYさんが、未来に向けて、前向きに行動できるようになつていったのです。

結果として、目標の通り、良縁に恵まれ、現在は幸せな家庭生活を送っています。

古来、「言葉」と言うように、「たましい」を込めた言葉は威力を持つと言われます。言葉には、人を動かし、自然を動かし、言つたとおりに環境や境遇を変える力があるということです。しかしながら、言葉は発したときには、はじめてその言葉の力を有します。

ゆえに、成し遂げたいことがあれば、「必ずやり遂げる」と覚悟を決めると共に、その思いを言葉に込めて、日々声に出して、実践していきたいものです。